

# 国語科学習指導案

平成27年10月16日～10月27日 2年〇組教室 指導者

- 1 単元名 立場と根拠を明確にして書こう  
～立場と根拠を明確にして自分の思いを書く～ 教材文「意見文を書く」

## 2 考察

### (1) 教材観

#### ①学習内容：学習指導要領上の位置付け

- ・「B書くこと」：イ「自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること」  
ウ「事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと」

#### ②伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力

- ・自分の考えの根拠を明確にして書く力
- ・考えの根拠を具体的に記述して説得力を持たせて書く力
- ・意見と根拠のつながりを明確にして文章を構成する力

#### ③単元を貫く言語活動の設定と言語活動の特徴

- ・「B書くこと」の言語活動例イの「多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと」を受けて、ワークシートを基に自分の考えをまとめ、読み手に分かりやすい文章を書くことを目的に、意見文を書く活動を設定する。
- ・自分の考えを読み手に納得してもらうためには、問題を見つける力、見つけた問題を解決しようとする意欲、解決するための論理的思考力とそれを書き表す力、などが求められる。ワークシートを用いて自分の考えをまとめることは、立場とそれを支える適切な根拠を探り、立場と根拠の適切なつながりを考えることもでき、本単元の言語活動として適している。

#### ④教材文の特徴

- ・意見文を書く手順が流れとして示され、学習の見通しが持てるようになっている。教科書からは「意見文の例」を用いて、立場と根拠のつながりを確認したり、根拠の妥当性を評価したりして、自分が意見文を書く際の参考にできるようにする。

#### ⑤必要な指導・活動

- ・本単元の課題をつかむ過程では、生徒に、身に付けたい力の自覚をさせたい。既習事項の確認を行ったり、振り返りの際に常に意識できるように身に付けたい力を示したりして、次時に生かせるようにしていく。また、二つの立場から一つを選ぶモデル文を基に、立場と根拠のつながり方や根拠の妥当性について学習していく。その際に自分が考えをまとめるときと同じワークシートを用いてまとめていくことで、形式の上でも内容でも自分の参考になるものとしていく。
- ・課題を追究する過程では、身の回りの生活に関わって、二つの立場から一つを選ぶようなテーマをいくつか設定し、その中から選んだものに対して、前時までに学習したことを基に自分の考えをまとめていく。自分の立場や伝えたい事実や事柄を明確にするためには、事実や事柄を様々な角度から見つめることが必要になる。また、自分の意見が相手に効果的に伝わるようにするためには、立場を支える適切な根拠は何かを考え、その説得力が増すように工夫していく必要がある。そこで、ワークシートに立場と根拠を書き入れ、考えをまとめていく活動を行う。課題をつかむ過程でモデル文の読み取りに使用したものと同形式のワークシートを用いて、生徒がそれを参考にしながら取り組めるようにする。ここでは、立場と根拠を書き分けるだけの意見文から、立場を支える強い根拠を持つ意見文へ、つまり、立場と根拠に適切なつながりのある文章へと、書く力を高めていきたい。そのために、根拠を吟味する時間を十分に確保したり、立場と根拠のつな

がりの妥当性について評価して意見交換したりする時間を取り入れる。また、構成の型や根拠を述べる順序、予想される反論とそれに対する意見などを考える活動を行うことで、構成を工夫して書けるようにもしていく。

- ・まとめの過程では、身に付いた力を自覚して次に生かしていけるように、相互評価や自己評価を振り返りの活動として取り入れる。

#### ⑥今後の学習の活用

- ・説得力のある論理展開を工夫して意見を主張する学習

### (2) 生徒の実態及び指導方針（男子○名 女子○名 計○名）

#### ①既習の学習内容

- ・1学期には、「メディアと上手に付き合うために」という教材文を用いて、自分の考えや気持ちなどについて根拠を明確にして書く学習を行った。また、段落の役割を考えて文章を構成することや、筋道を立てて考え、「序論」「本論」「結論」の三段構成で文章を書くことも学習した。

#### ②指導方針

- ・意欲を持って授業に取り組めるようにするため、課題や単元を貫く言語活動に生徒が興味を持てるものを設定する。また、学習意欲を持続させるようにするため、分かりやすい説明や個別の支援を行い、学習活動を理解させる。
- ・自分はどのような文章を書きたいのかを意識しながら取り組めるようにするために、立場や根拠がしっかり考えられているのが良い文章であるということを既習事項として押さえておく。
- ・立場を支える根拠のつながりの適切さを意識しながら、見通しを持って筋の通った文章を書くことができるようにするため、立場や根拠の流れを可視化して整理できるようなワークシートを用いる。
- ・自信を持って文章を書けるようにするために、観点を明確にした相互評価を取り入れる。また、生徒が自分自身で身に付いた力を実感できるようにするために、学習前と学習後の文章を比較させるなど自己評価の仕方を工夫する。

### 3 研究とのかかわり

平成27年度の全国学力・学習状況調査の群馬県の中学校国語の結果分析では、特に課題が見られる問題として「自分の考えや気持ちの根拠となる事柄を明確にして書くこと」が挙げられている。また、「はばたく群馬の指導プラン」では、群馬県の国語の課題として「自分の考えや伝えるべき内容を相手や目的に応じて表現すること」が挙げられている。

これらのことから、根拠を明確にして表現すること、分かりやすく表現するために適切な根拠を用いることができる力をつけていくことが重要であることがうかがえる。そこで、明確な主張と根拠、主張を支える根拠の適切さに視点を当てて、書くことの研究に取り組むこととした。なお、授業実践では意見文を取り上げるので、主張の部分を立場と表現することにする。

一学期の「メディアと上手に付き合うために」の学習では、意見文を書くために、課題をつかむ過程で「すっきりシート1」を基に教材文を読み取る活動を取り入れ、明確な根拠を意識できるようにした。また、課題を追究する過程では、「すっきりシート1」に相手意識を明確にししながら自分の立場や根拠を書き入れたり、「すっきりシート2」を活用して自分の立場と根拠のつながりを評価したりする交流活動を取り入れて、自分の立場に対する根拠の妥当性を意識できるようにした。

本単元も、立場と根拠を明確にした意見文を書く学習である。一学期の学習を生かし、各過程の根拠の適切さに気付く場面、自分の考えを整理する場面、整理した考えを評価する場面で『すっきりシート』を活用していく。このことが、研究テーマである「論理的で分かりやすい文章を書く」力を高めることに有効であるかを、本実践を通して明らかにしていく。これは、前述の群馬県の課題の改善にもつながると考えられる。

#### 4 単元の目標

立場を支える適切な根拠を考え、意見文を書くことができる。

#### 5 指導計画（全6時間予定）

評価規準	国語への関心・意欲・態度		テーマに対する自分の立場と根拠を明確にして、意見文を書いている。				
	書く能力		根拠となる事実や事柄を明確にして、それを支える考えを意識しながら、立場の明確な文章を書いている。				
言語についての知識・理解・技能		読み手に自分の考えが伝わるように、適切な語句を選択して使っている。					
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	関	書	言
		活用させたい知識等	思考力・表現力等				
第1時	課題把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習漢字、語句の意味の理解</li> <li>原稿用紙の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをまとめ表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を知り、単元全体の見通しを持つ。</li> <li>テーマを選び自分の立場を決め、意見文を書く。</li> </ul>	○	○	○
第2時	握	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実と意見などを読み分けること</li> <li>文章構成についての知識 (序論・本論・結論 頭括型・尾括型・双括型)</li> <li>立場を支える根拠の適切さに気付くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場を支える根拠の適切さを考える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル文か筆者の立場とそれを支える根拠を捉えて、「すっきりシート1」にまとめる。</li> <li>モデル文の分かりやすさの理由を確認する。</li> </ul>		○	
第3時	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>集めた材料を分類して整理すること</li> <li>事実と意見などを関係づけること</li> <li>事実と意見などを区別して書くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>反論の予想、それに対する意見を書くことの効果を考える力</li> <li>多様な角度から自分の意見を考える力</li> <li>自分の立場を支える強い根拠をまとめる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠の妥当性や信頼性、反論の効果について考える。</li> <li>立場と根拠のつながりを意識して、考えを「すっきりシート1」にまとめる。</li> </ul>		○	
第4時	追究	<ul style="list-style-type: none"> <li>立場と根拠を関連付けること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立場と根拠のつながりを評価する力</li> <li>自分の立場を明確にして、文章の構成を工夫する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すっきりシート2」を使って立場と根拠のつながりを評価する。</li> </ul>		○	
第5時		<ul style="list-style-type: none"> <li>既習漢字、語句の意味の理解</li> <li>書いたものを読み返し、分かりやすい文章にすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場と根拠のつながりを意識して説明や具体例を加えて書く力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場、根拠、反論に対する意見を述べる順序を考える。</li> <li>シートを基に表現</li> </ul>		○	○

				を工夫しながら文章を書く。		
第6時	まとめ	・ 友達の作品良いところ（立場と根拠のつながらり）を見取ること	・ 文章の構成や材料の活用の仕方よさを感ずる力	・ 書き上げた文章を相互評価したり、自己評価したりして、学習を振り返る。	○	

6-1 本時の展開 (1/6)

(1) ねらい

・ 学習計画表を用いて、本単元で身に付ける力を知り、学習の見通しを持つことができる。

(2) 準備

教師—学習計画表（配付用・掲示用）、学習プリント、原稿用紙

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本単元で学習することを知り、見通しを持つ。	5分	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>【学習課題】</b>「意見文を書こう」で学習することを知り、計画を立てよう。         </div>		
○「書くこと」の学習の意義を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ・ 高校受験のときに必要。              ・ 就職するときにも必要。              ・ 社会に出てからも書くことはある。           </div> ○意見文について知り、分かりやすい文章について確認する。		・ 「書く」ためには「考える」ことが必要であり、考えることが日々の生活や将来をよりよくすることにつながることも意識させる。 ・ 「本単元で何を学ぶのか」を意識できるように、単元のねらいを毎時間掲示する。  ・ 「意見文」とは自分の意見を書いた作文のことであり、そのため「立場を明らかにすること」「立場を支える明確な根拠」が必要であることを押さえる。 ・ 既習事項として出された意見も示して、確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ・ 立場や根拠がしっかり考えられている。              ・ 文の構成がきちんとしている。              ・ 具体例が挙げられている。           </div>
○問題を解きながら、根拠の明確さについて考える。	10分	・ 文例（根拠の明確な文章と不明確な文章）を用意して、違いを考えさせることで、根拠が明確でなければならないことの重要性を考えさせる。 ◎簡単な記入で良いことを伝える。
○学習計画表で単元の学習の流れを確認する。	7分	・ 学習の流れが分かるように、学習計画表を提示する。学習のめあてを確認し、振り返りを書くとい

		<p>う学習計画表の使い方を説明する。</p> <p>◎ポイントのみ記入するようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇自分の立場や伝えたい事実を明確にして文章を書くことを理解し、個人目標を考えている。 (観察・学習計画表)【関・意・態】</p> </div>
○一つのテーマを選び、立場を決め、一次意見文を書く。	25分	<p>・身近な生活に関わることで、二つの立場からどちらかを選ぶようなテーマを複数提示し、一つを選ばせて自分の立場を決めさせ、原稿用紙1~2枚程度の一次意見文を書かせる。</p> <p>◎既習事項(原稿用紙の使い方、構成、段落など)の簡単な確認は行うが、まずは自由に書いて良いことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇テーマに対する自分の考えを文章に表すことができている。 (一次意見文)【書く】</p> </div>
2 本時のまとめをし、次時の学習への見通しを持つ。	3分	<p>・自己評価は4段階で行わせる。</p> <p>・自分のめあてを意識して、振り返りを書かせるようにする。</p>

7-1 板書計画

「意見文を書く」

※テーマ

- 1 学校の昼食は給食が良いか弁当が良いか
- 2 図書館にまんがを置いた方が良いか置かない方が良いか
- 3 新年のあいさつはメールが良いか手紙(年賀状)が良いか
- 4 電車やバスの優先席はある方が良いか無くした方が良いか

拡大した学習計画表を掲示し、書き方のポイントを押さえて説明する。

学習計画表

**※単元の目標**

**立場を支える適切な根拠を考え意見文を書く**

※身に付けたい力

- ◎多様な角度から自分の意見を考える力
- ◎立場を支える適切な根拠を挙げる力
- ◎立場と根拠のつながりを評価する力
- ・誰に対して何を伝えるのかを意識する力
- ・文章構成(組み立て)を工夫する力

6-2 本時の展開 (2/6)

(1) ねらい

- ・モデル文1を読み、立場とそれを支える根拠の適切さをつかむことができる。

(2) 準備

- 教師—学習計画表 (掲示用)、モデル文1、立場や根拠を書いたカード、すっきりシート1 (配付用・掲示用)
- 生徒—学習計画表、ノート

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、学習への見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を意識できるように板書する。</li> <li>・学習計画表を見て流れを確認させる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【学習課題】モデル文を読んで、筆者の立場とそれを支える根拠の適切さをつかもう。</p> </div>		
<p>2 モデル文1を読んで、立場と根拠を読み取る。</p> <p>○モデル文1に書かれているテーマ、相手、目的を「すっきりシート1」に書き込む。</p> <p>○筆者の立場を捉えて、「すっきりシート1」にカードを貼る。</p> <p>○立場を支える根拠は何か、根拠となる事実と考察がどのようにつながっているか読み取り、「すっきりシート1」にカードを貼る。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を聞きながら、誰に向けて、何を伝えようとしている文章なのか (相手意識、目的意識) を確認させる。</li> <li>・友達 (中学生) に向けて書いてある文章なので、「易しい文章」「短い一文」「具体例を挙げる」等の留意点に気付かせる。</li> <li>◎拡大した「すっきりシート1」を黒板に掲示して、見て確認できるようにする。</li> <li>・シートの使い方の確認も兼ねて行う。</li> <li>◎モデル文1を良く見るように指示する。</li> <li>・事実と考察を矢印でつなぎ、つながりを視覚的に確認させる。</li> <li>◎隣同士で確認し合うようにさせ、他の意見と違っていた場合には、なぜそのようになっているのか理由も考えるようにさせる。</li> <li>・拡大図を使って全体で確認する。</li> </ul>
<p>3 立場とそれを支える根拠の適切さを考える。</p> <p>○モデル文1の分かりやすさがどこにあるかを考える。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立場とそれを支える根拠の適切さに着目させ、気付いたことをノートに書かせる。</li> <li>◎個人で考えた後、席の近い3~4人で意見交流させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な根拠がたくさん書かれているところ。</li> <li>・事実と考察と両方書かれているところ。</li> <li>・根拠が「なるほど」と思えるものになっている。</li> </ul>		<p>◇モデル文の立場と根拠を読み取り、根拠の適切さに気付いてまとめている。</p> <p style="text-align: center;">(すっきりシート1) (ノート)</p> <p style="text-align: right;">【読む】</p>

<p>4 本時のまとめをし、次時の学習への見通しを持つ。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立場とそれを支える根拠の適切さを意識して、振り返りを書かせるようにする。</li> <li>・ 次時は自分の選んだテーマについての立場と根拠を考えることを知らせる。</li> </ul>
----------------------------------	-----------	--

7-2 板書計画

※文章の分かりやすさのもと

- ・ 具体的な事実が書いてある。
- ・ 事実と考えの両方が書いてある。
- ・ 根拠がたくさん書いてある。
- ・ 根拠が詳しく書いてある。

【すつきりシート1】

「意見文を書く」

立場を支える適切な根拠を考え、意見文を書こう。

モデル文を読んで、筆者の立場とそれを支える根拠の適切さをつかもう。

テーマ……辞書について  
 相手……中学生 ↓ 易しい文章・短い一文  
 目的……紙の辞書と電子辞書のどちらが  
 良いかを伝える

6-3 本時の展開 (3/6)

(1) ねらい

- ・立場や根拠を明確に、自分の考えをまとめることができる。

(2) 準備

教師—学習計画表（掲示用）、モデル文1、モデル文2、すっきりシート1、付箋紙（3色）  
 生徒—学習計画表、モデル文1、すっきりシート1（前時で使用したもの）

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、学習への見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を意識できるように板書する。</li> <li>・学習計画表を見て流れを確認させる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【学習課題】 立場や根拠を明確に、自分の考えをまとめよう。</p> </div>		
<p>2 分かりやすい文章を書くための観点を整理する。</p> <p>3 反論の効果について考える。</p> <p>○モデル文1に反論の予想とそれに対する意見を付け加えたモデル文2を読み、その違いを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子辞書の欠点を述べることで紙の辞書のよさが強まる。</li> <li>・利点、欠点を書くことで内容が深まる。</li> <li>・両方の立場が書いてあるので、比較しやすい。</li> </ul> </div>	25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に出された意見をまとめて提示し、そこから観点をまとめていく。</li> <li>・「すっきりシート2」に観点を記入させる。</li> <li>・プリントに印を付けたり、違いを考えて書いたり目で見て分かるようにさせる。</li> <li>・反論の予想とそれに対する意見が書かれていることで、論に説得力が増し、意見の正当性が補強されることを理解させる。</li> </ul>
<p>4 自分の立場を決め、その根拠を考える。</p> <p>○第1時で選んだテーマについて、自分の立場は何か、立場を支える根拠にはどのようなものがあるのかを考え付箋紙に書き、「すっきりシート1」のそれぞれ欄に貼る。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを明確にするために、書く相手や目的を「すっきりシート1」に記入させ、相手意識や目的意識を持たせる。</li> <li>◎前時で扱ったモデル文を参考にするように伝える。</li> <li>・立場を支える根拠を適切なものにするために、事実（出来事や経験など）と考察（そこから生じる思いや考えなど）を区別して書かせる。</li> <li>◎単語や短い文で書くのでも良いことを伝える。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>◇根拠を明確にして自分の考えをまとめている。              （観察・すっきりシート1）【書く】</p> </div>
3 本時のまとめをし、次時の学習へ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・立場とそれを支える根拠の適切さを意識してシー</li> </ul>

の見通しを持つ。	5分	トを作成することができたかを基に、振り返りを書かせるようにする。 ・次時は、「すっきりシート1」を見直すことを伝える。
----------	----	--

7-3 板書計画

「意見文を書く」

立場を支える適切な根拠を考え、意見文を書こう。

立場や根拠を明確に自分の考えをまとめよう。

**※分かりやすい文章のポイント**

① 立場を支える根拠になる事実が書かれている

② 事実の内容が分かりやすく数値が具体的に示されている

③ 事実が正確である

④ 事実の数が十分そろっている  
(思い込み、決めつけでない)

⑤ 事実の考察がされている

⑥ 事実と考察を無理矢理つなげていない  
(矛盾・飛躍がない)

**※反論の予想とそれに対する意見**

多角的なものの方  
文章の説得力が増す ←

⑦ 反論やそれに対する意見が書かれている

6-4 本時の展開 (4/6)

(1) ねらい

・ 観点を基に、立場を支える根拠の適切さを自己評価、相互評価することができる。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、すっきりシート2 (縮小版: 評価カード)、付箋紙 (3色)

生徒—学習計画表、すっきりシート1 (前時に作成したもの)、すっきりシート2、モデル文2

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、学習への見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題を意識できるように板書する。</li> <li>・ 学習計画表を見て流れを確認させる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【学習課題】 立場を支える根拠の適切さを評価して、より良くしよう</p> </div>		
2 自分の立場を決め、その根拠を考える。(前時の見直し、補足) ○自分の立場は何か、立場を支える根拠にはどのようなものがあるのかを考え付箋紙に書き、「すっきりシート1」のそれぞれ欄に貼る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時のシートを見直して、根拠を増やしていくようにさせる。</li> <li>◎後で文章化するので、単語や短い文で書くのでも良いことを伝える。</li> </ul>
3 立場と根拠のつながりを評価する。 (1) 「すっきりシート2」を基に、自分の立場と根拠のつながりを見直す。  (2) 3~4人のグループで、お互いの立場と根拠のつながりを相互評価する。  (3) 友達の評価を受けて、自分の立場と根拠のつながりを再度見直す。	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己評価をして、観点ごとの評価を「すっきりシート2」に書き込ませる。</li> <li>・ 評価の低い箇所は修正をさせる。</li> <li>・ 同テーマを選んだ生徒3~4人のグループを作っておく。</li> <li>・ 小さく印刷された「すっきりシート2」に評価とアドバイスを書き込みお互いに交換させる。</li> <li>・ アドバイスは良かった点も書いて良いことを伝える。</li> <li>◎グループの形態にしておき、アドバイスで分かりにくい所は、書いてくれた本人に聞きながら直すようにさせる。</li> <li>◎見せてもらった友達のシートも参考にするようにさせる。</li> <li>・ もう一度自己評価を行い、評価を赤色で書き込ませて、改善したことを実感できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◇主張を支える根拠の評価の仕方を理解して、友達の評価をしたり自分の根拠を見直したりしている。(すっきりシート1・すっきりシート2 学習計画表)【書く】</p> </div>

4 本時のまとめをし、次時の学習への見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立場を支える根拠の適切さを評価できたかを基に振り返りを書かせるようにする。</li> <li>・次時は、本時を基に構成を考え、意見文を書くことを伝える。</li> </ul>
---------------------------	----	---

7-4 板書計画

<p>「意見文を書く」</p> <p>立場を支える適切な根拠を考え、意見文を書こう。</p>	<p>立場を支える根拠の適切さを評価してよりよいものにしよう。</p>	<p>【活動】</p> <p>I グループを作る</p> <p>II 左隣の人に「すつきりシート1」を渡す</p> <p>III 観点を基に評価する A B C</p> <p>IV 一言アドバイスを記入する</p> <p>V 一回りしたら「すつきりシート1」を見直す</p>	<p>すつきりシート2</p> <p>評価の観点</p> <p>① 立場を支える根拠になる事実が書かれている</p> <p>② 事実の内容が分かりやすく数値が具体的に示されている</p> <p>③ 事実が正確である (思い込みや決めつけでない)</p> <p>④ 事実の数が十分にそろっている</p> <p>⑤ 事実の考察がされている</p> <p>⑥ 事実と考察を無理矢理つなげていない (矛盾や飛躍がない)</p>
--	-------------------------------------	---	---

6-5 本時の展開 (5/6)

(1) ねらい

・構成を工夫し、立場と根拠が明確な文章を書くことができる。

(2) 準備

教師—学習計画表（掲示用）、構成表、原稿用紙

生徒—学習計画表、すっきりシート1、モデル文2、国語辞典

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、学習への見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を意識できるように板書する。</li> <li>・学習計画表を見て流れを確認させる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【学習課題】</b> 文章構成を考えて、立場と根拠が明確な文章を書こう         </div>		
2 構成を考える。 ○作成した「すっきりシート1」の付箋紙を確認しながら構成を考える。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すっきりシート1」を基に、何をどのような順番で述べていくかという自分の文章の組み立てを考えさせる。</li> <li>◎必要に応じて構成表を補助プリントして配るようにする。</li> <li>・構成の3つの型（頭括型・尾括型・双括型）について確認する。</li> <li>◎理由や根拠を述べる順の例として、以下のことを確認する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①理由・根拠として重要な（説得力のある）順</li> <li>②理由・根拠として一般的だと考えられる順</li> <li>③理由・根拠として単純なものの順 など</li> </ul> </li> <li>◎モデル文の文章構成を参考にしてもよいことを伝える。</li> </ul>
3 構成案を基に意見文を書く。	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿用紙1枚～2枚程度で書かせる。</li> <li>・明快な筋道や、出だしと結びの整合性などに留意させる。</li> <li>・読み手に伝わりやすい簡潔な表現にさせるとともに、指示語や接続語などを効果的に利用して文章の展開をはっきりさせる。</li> <li>・既習の漢字を用いて書くことができるように、必要に応じて辞典等を活用させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇立場を支える根拠が適切で、流れの整った文を書いている。 (二次意見文)【書く】</li> <li>◇読み手に自分の考えが伝わるように、適切な語句を選択して使っている。 (二次意見文)【言語】</li> </ul> </div>

<p>4 本時のまとめをし、次時の学習への見通しを持つ。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立場と根拠を明確にして意見文を書くことができたかについて振り返りを書かせるようにする。</li> <li>・次時は、意見文を紹介し合うことを伝える。</li> </ul>
----------------------------------	-----------	---

7-5 板書計画

<p>「意見文を書く」</p> <p>立場を支える適切な根拠を考え、意見文を書こう。</p>	<p>構成を考えて</p> <p>立場と根拠が明確な文章を書こう。</p>	<p>※構成</p> <p>頭括型</p> <p>尾括型</p> <p>双括型</p>	<p>※根拠を述べる順</p> <p>①重要な(説得力のある)順</p> <p>②一般的な順</p> <p>③単純なもの順</p> <p>など</p>	<p>※注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手に伝わる文章にしよう</li> <li>・筋道の通った文章を書こう</li> <li>・指示語や接続語などを上手に使おう</li> </ul>
--	---------------------------------------	---	---	--

6-6 本時の展開 (6 / 6)

(1) ねらい

- ・書いた文章を読み合い、分かりやすい文章について考え、自分の文章を振り返ることができる。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、評価カード

生徒—学習計画表、すっきりシート1、一次意見文、二次意見文 (原稿)

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、学習への見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を意識できるように板書する。</li> <li>・学習計画表を見て流れを確認させる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p><b>[学習課題]</b> お互いの文章を読み合って、 分かりやすい文章について振り返ろう</p> </div>		
<p>2 3～4人のグループで交流し合う。</p> <p>○第1時に書いた意見文と前時に書いた意見文を回し読みして、相互評価をする。</p> <p>○メンバーを変えて読み合い、評価する。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4時と同じグループで読むようにさせる。</li> <li>・立場を支える根拠の適切さという点で良いところを見つけ、評価カードに記入させる。</li> <li>・自分自身の今後の参考にとできるところはどこかという観点でも読ませる。</li> </ul>
<p>3 自己評価を行う。</p> <p>○一次意見文と比較して、分かりやすい文章とはどのようなものかについて、自分の考えを持つ。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすくなった点など、良くなったところを中心にみるようにさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇立場に対する適切な根拠を備えた文章が分かりやすい文章であることを理解している。 (評価カード・学習計画表)【書く】</p> </div>
4 学習のまとめをする。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体を通しての振り返りをさせ、「身に付いた力」を意識させるようにする。</li> </ul>

「意見文を書く」

立場を支える適切な根拠を考え、意見文を書こう。

分かりやすい文章の書き方について振り返ろう。

【こんな視点で評価カードを書こう】

- ・言いたいことが明確で、説得力のある文章になっているか。
- ・根拠となる事実と考察のつながりが分かりやすいか。
- ・内容の伝わりやすい文章構成になっているか。

※作品のよさは、どんなところか。